

適用規格		MIL-STD-348B			
定 格	使用温度範囲	-55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)	
	電 力	-- W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ~ 30 GHz)	
	特 殊 性	----	使用ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		—	—
電気的 性能	接 触 抵 抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 6 mΩ 以下 外部コンタクト 6 mΩ 以下	○ ○	○ ○
	絶 縁 抵 抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○
	耐 電 圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡, 絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 ①➤	周波数 0 ~ 6 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下	○	—
		周波数 6 ~ 25 GHzにて測定する。	VSWR 1.35 以下	○	—
		周波数 25 ~ 30 GHzにて測定する。	VSWR 1.5 以下	○	—
挿 入 損 失	周波数 -- ~ -- GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—	
機械的 性能	単 体 挿 抜 力	φ の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	— —	— —
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。 [SMPJ-HKJ]	挿入力 45 N以下 引抜力 9 N以上	○ ○	— —
	繰 り 返 し 動 作 ①➤	500 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 12 mΩ 以下 外部コンタクト 12 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性 ①➤	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
				○	—
	耐 衝 撃 性 ①➤	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ部の 引 張 り 強 度	- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 --- N以上	—	—
環境的 性能	温湿度サイクルの 耐 湿 性 ①➤	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に 10 サイクル (240 時間) 放置する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ 以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温 度 サ イ ク ル ①➤	温度 -55 → - → +125 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧 ①➤	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.2 以下 (0~6GHz)	○	—
			VSWR 1.35 以下 (6~25GHz)	○	—
VSWR 1.5 以下 (25~30GHz)			○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考 注 ①➤ 基板実装後の性能となります。			承 認	TO. KATAYAMA	18.06.13
			検 図	KY. SHIMIZU	18.06.12
			担 当	TM. YOSHIDA	18.06.12
			製 図	TM. YOSHIDA	18.06.12
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図 番	SLC-375851-00-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	SMP-LPR (LD) -SMT-1	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL338-1107-0-00	
				△	1/1